

# 第4章 重点地区のまちづくり方針

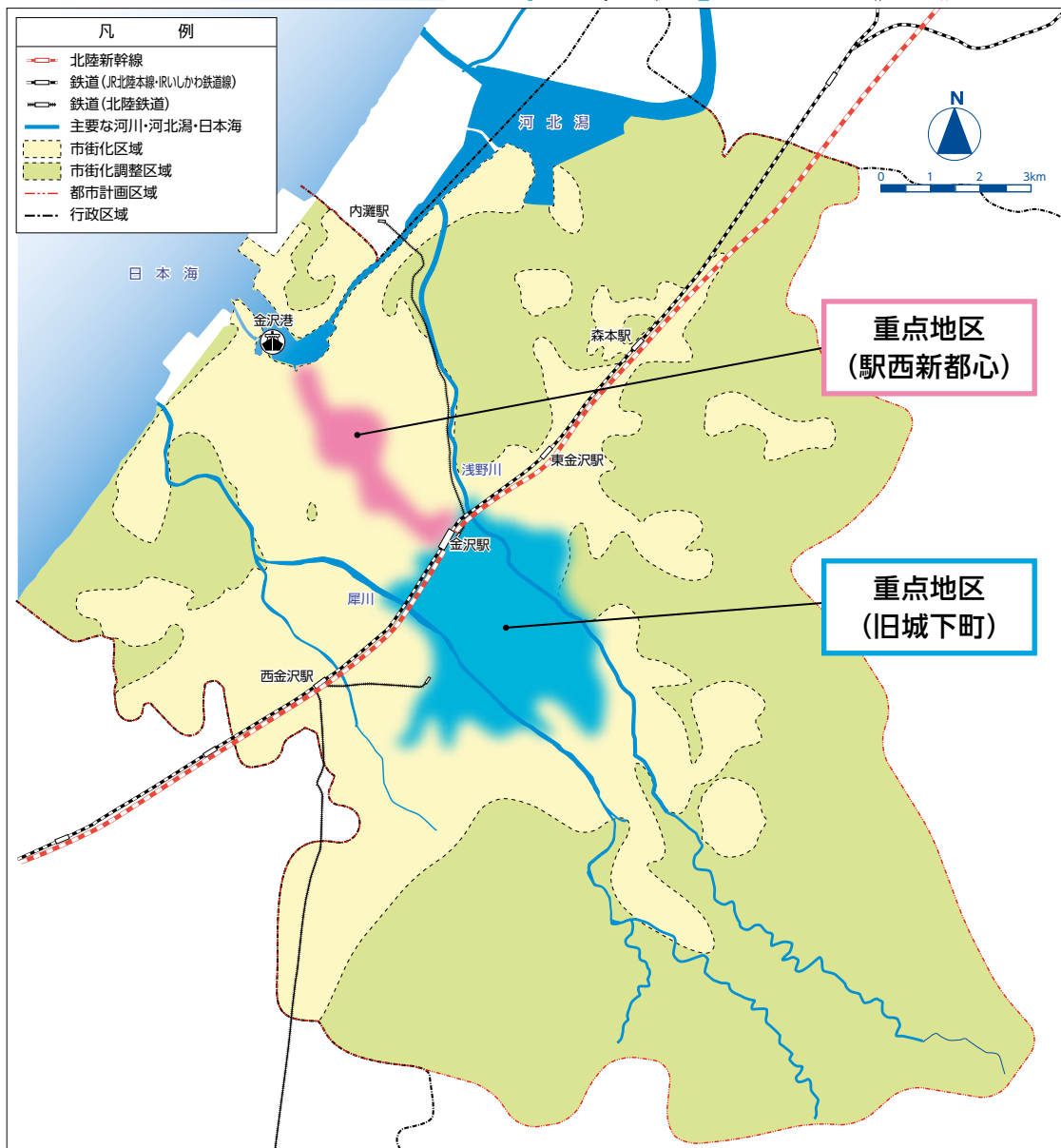
## 4-1 重点地区の設定

藩政期からの都市構造を今に残す旧城下町区域は、金沢市の歴史文化の源であるとともに、これまでも重点地区として位置づけられており、今後も商業、業務など様々な都市機能の中核を担う金沢の都心です。

一方、駅西新都心のうち金沢駅西から金沢港に至る都心軸周辺は、「金沢市集約都市形成計画」の都市機能誘導区域として都市機能の集積や賑わいの創出を図る重要な区域であり、新たなまちづくりを牽引する区域です。

これら2つの区域は、金沢市のまちづくりを進める上で重要な区域であり、本計画の重点地区として設定し、まちづくりのテーマと方針を示します。

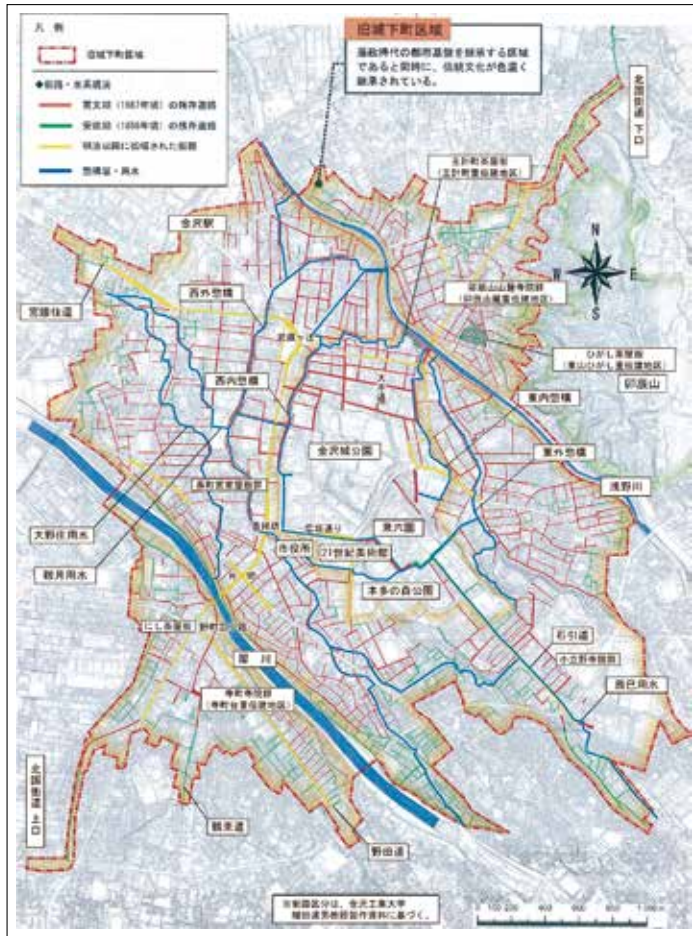
### ◆重点地区



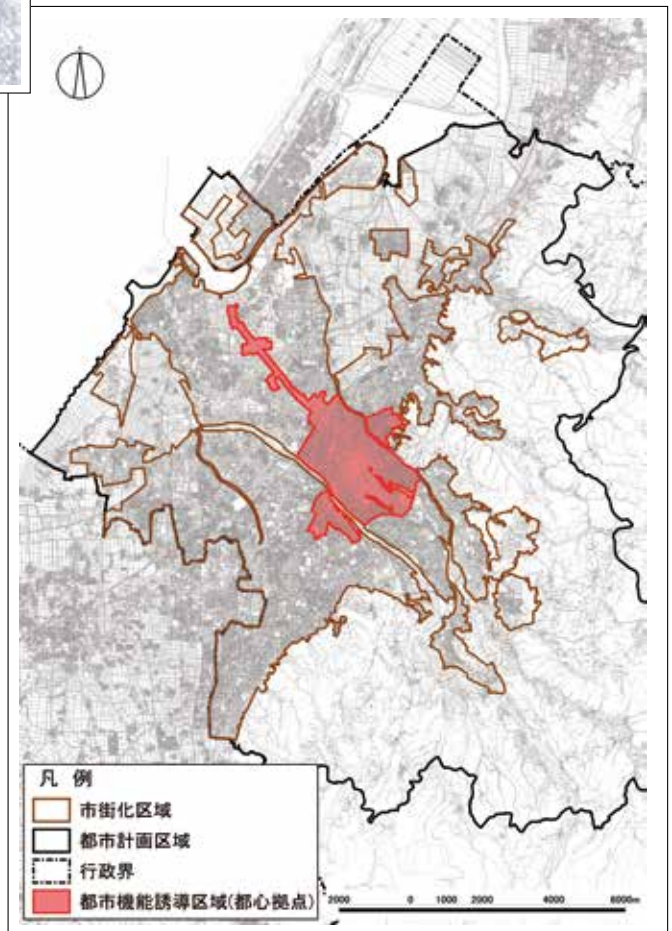
※駅西新都心とは:旧城下町区域を中心とする都心部に対し、土地区画整理事業などにより新しく基盤整備された駅西区域のこと。

## 第4章 重点地区のまちづくり方針

### ◆旧城下町区域(金沢市都市計画マスタープラン2009)



### ◆都市機能誘導区域／都心拠点 (金沢市集約都市形成計画)



## 4-2 重点地区のまちづくりのテーマ

金沢市では、これまで受け継がれてきた“伝統環境”と、新たな都市空間を創出する“近代的都市環境”の調和を基本方針として総合的な施策展開を行ってきました。今後も、旧城下町においては、歴史文化資産や自然環境の保全・活用・継承を図り、駅西新都心においては、新たな都市機能の集積や賑わいの創出を図るまちづくりが必要です。

これまで培ってきた特性を活かした交流拠点都市としての機能を高めていくためには、都市の品格と魅力を高めるとともに、市民が主体的にまちづくりに参画し創造することが求められます。

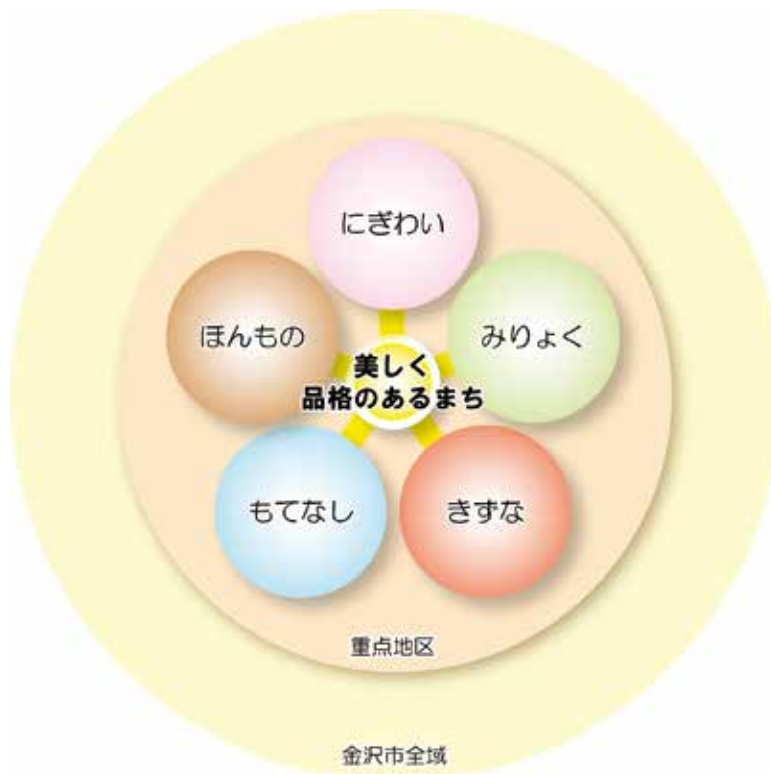
本章では、これまで位置付けられてきた重点地区のテーマ「にぎわい」、「ほんもの」、「みりよく」、「もてなし」に市民主体のまちづくりの重要性から「きずな」を加え、

多様な人々が住まい、営み、交流する「にぎわい」、  
生活に根付いた世界に誇る「ほんもの」、  
金沢の個性の保全と創出に向けた新たな「みりよく」、  
やさしさと親しみに満ちた「もてなし」、  
地域コミュニティを支える「きずな」、

づくりを進め、市民とともに作りあげる持続的に成長する成熟都市を目指し、重点地区のまちづくりのテーマを次のように設定します。

**美しく品格のあるまちを目指し、  
「にぎわい」、「ほんもの」、「みりよく」、「もてなし」、「きずな」を  
磨き高める。**

### ◆重点地区のまちづくりのテーマイメージ



## 4-3 重点地区のまちづくり方針

### 1. 多様な人々が住まい、営み、交流する「にぎわい」づくり

●城 は旧城下町の方針、●新 は駅西新都心の方針を示しています。

#### A. 安全で安心な居住環境の形成



▲金沢市街



▲金澤町家情報館

●城 まちなか定住促進事業などの利用促進により、まちなか定住を推進します。

●新 ●城 公共交通の利便性向上などに取り組みながら、商業業務環境と調和した良好な住環境の確保による定住促進を図ります。

●城 木造密集市街地においては、防災まちづくり計画に基づく事業の活用など、災害に強い安全、安心な住宅地の整備に努めます。

●城 金澤町家再生活用事業の利用促進により、旧城下町に数多く残る金澤町家を保全・活用します。

●城 事業者への各種支援制度の周知、活用促進により、まちなかでの便利で快適な暮らしを支える生活関連サービスの提供、充実に努めます。

●城 まちなかの駐車場の適正な配置を図るとともに未利用地の宅地化施策を促進し、建物利用を主体とした土地利用の実現を目指します。

●新 ●城 公共建築物は、「金沢市公共施設等総合管理計画」に基づく総合的かつ計画的な維持管理のもと、既存ストックを有効に活用するとともに、必要な施設用途、サービス内容、適正な配置を検討しながら、快適なまちなか居住の向上を目指し、各種機能の充実に努めます。

●新 ●城 道路や橋梁などのインフラ施設は、「金沢市公共施設等総合管理計画」に基づく総合的かつ計画的な維持管理のもと、耐震化の推進や安全で安心して利用できる施設環境の整備を図ります。

B. 商業、流通、業務などの機能強化によるまちの活性化

**新城** 賑わいの創出に向けて地権者・関係団体との協議・調整を図りながら商業、流通、業務機能の強化によるまちの活性化を目指します。

**城** 都心軸沿線においては、関係団体との連携、地区計画やまちづくり協定などを活用しながら、商業、業務機能の求心力を高め、活力ある商業環境や都心ビジネスの形成を図ります。

**新** 金沢駅港線沿線においては、流通、業務機能を中心とした機能集積を図るとともに、北陸自動車道や外環状道路などの交通機能を活かし、活気と活力のある新都心の形成を図ります。

**新城** 都市の魅力と拠点性を高め、連続的な賑わいを創出するため、都心軸において公共交通の利便性向上を図るとともに、新しい交通システムの導入検討を進めます。

**新** 金沢駅西広場周辺においては、商業業務機能の集積を図るとともに、広場と一体となった歩行空間の整備などによる賑わい創出を図ります。

**新** 金沢市中央卸売市場及び金沢市公設花き地方卸売市場については、再整備や今後の運用について検討し、老朽化する施設への対応を図ります。

**新** 石川県立中央病院周辺においては、南新保地区などを含む適正な土地利用の誘導により、医療・福祉・健康機能と連携したまちづくりを推進します。

**新** 金沢港周辺では、国際物流拠点や観光交流拠点として必要な基盤整備、賑わい空間を創出するための機能強化、企業の集積などにより、海の玄関口としての拠点化を図ります。

**新** 金沢港とその周辺では、金石・大野地区の歴史文化資産を活かした賑わいの創出のため、回遊性の向上を図ります。



▲広坂通り



▲金沢港

## 第4章 重点地区のまちづくり方針



▲片町・香林坊

**城** 片町・香林坊・広坂地区、武蔵地区においては、歩行空間の充実、まちなか広場の整備、駐車場の適正配置など、魅力向上や賑わい創出に向けた取組を推進します。

**城** 都心軸沿線とその周辺においては、民間活力による老朽建築物の再整備や市街地再開発事業の活用などにより、賑わいの創出を図ります。

**城** ストリートファニチュアの充実や彫刻の設置などにより、歩いて楽しめる空間を創出します。

**新城** 都心軸沿線においては、建築物や屋外広告物の適切な規制誘導により良好な沿道景観の創出を図ります。

### C. 地域や人とのつながりの充実



▲金沢城公園

**城** 金沢城公園周辺や茶屋街、寺院群などの歴史的な街並みを有する地区、金沢21世紀美術館などの文化拠点、香林坊などの商業拠点など、各種観光拠点を結び歩行者・自転車・公共交通のネットワークの充実に努めます。

**城** いしかわ四高記念公園やしいのき緑地などまちなかの公園、広場では、多彩なイベントなどを通して、来訪者と地域の人々が交流できる機会を創出します。

**新城** 金沢港や金沢駅前広場などでは、交通結節機能を活かした多彩なイベントなどを通して、来訪者と地域の人々が交流できる機会を創出します。

**新城** 訪日外国人の増加を踏まえ、宿泊施設の適正な運営を促すことにより、地域住民との良好な関係を構築することで多様な交流の場・機会を創出します。

## 2. 生活に根付いた世界に誇る「ほんもの」づくり

### A. 歴史都市としての品格の継承と文化的景観の保全

- 旧城下町としての都市基盤、長年蓄積された伝統文化及び藩政期から継承されている市民の暮らしに培われた金沢固有の文化的景観の保全・整備を図ります。
- 歴史的建造物や歴史的街並みの保全・活用により、国内外に誇る歴史都市としての個性と魅力の向上を図ります。
- 伝統的建造物群保存地区の保存整備を進めるとともに、金澤町家の保全・活用の推進に努めます。
- 寺社などの歴史的建造物や庭園については、周辺の都市環境を含め保全を図ります。
- 金沢の歴史文化を培った風土である卯辰山、小立野台、寺町台の丘陵・台地とその間を流れる犀川、浅野川の両河川によって形成される特有の地形や斜面緑地などの自然環境を保全します。
- 旧城下町を流れる辰巳用水や金沢城惣構跡などを保全するとともに、用水の開渠化などによる復元や親水空間としての整備の推進を図ります。
- 藩政期の面影を今日に残す細街路については、市民生活環境に配慮しつつ、その魅力を残しながら維持、改善を図ります。
- 歴史文化資産については、調査、研究による価値付けと文化財指定や復元などにより保全に努めます。
- 学校教育や生涯学習の場を通じ、金沢の世界に誇る歴史文化資産について市民に対して啓発に努めます。



▲金澤町家



▲西外惣構

### B. 世界に誇る「ほんもの」の創造と発信



▲ひがし茶屋街



▲金沢職人大学校

- 城** 兼六園、金沢城公園周辺は、歴史、伝統、文化が息づく世界に誇る金沢の顔として、世界に向けてその魅力の発信に努めます。
- 城** 用水、金沢城惣構跡、茶屋街、寺院群などの歴史文化資産の魅力を広く世界に発信していきます。
- 城** 金沢らしい新たな木造建築による街並み景観の創出に取り組みます。
- 城** 金沢大学工学部跡地に移転する金沢美術工芸大学は、人材育成拠点、美と知の研究拠点、地域に開かれた文化芸術の交流拠点として機能強化を図ります。
- 城** 国内外の人やモノ、情報を集積し、金沢が持つ本物の文化などの資産を活かして、広く市民が参画し産学官の叡智が融合する価値創造拠点の整備などにより、第4次産業革命への対応を推進します。
- 城** 金沢職人大学校を活用した伝統技術後継者の育成により、藩政期から伝えられる高度な伝統技能の継承に努めます。
- 城** 職人などの創作活動の場を拡充するため、町家などを活用した作り手の活動拠点の機能維持に努めます。
- 新城** 「クラフト創造都市」として、金沢の伝統工芸などを活かした高付加価値の商品開発を推進するとともに、金沢の高い技術力を国内外に発信します。
- 新** 石川県工業試験場などの機能を活かし、産学官の交流や地域産業を担う人材の育成を図るとともに、県と連携しながら、ものづくりにおける新たな付加価値の創造に向けた取組を推進します。



### 3. 金沢の個性と調和した新たな「みりょく」づくり

#### A. 新たな魅力づくりに向けた輝く個性の創出

**新城** 都心軸沿線や幹線道路沿線においては、地区計画や高度地区などの活用により個性ある近代的都市景観を創出します。

**新城** 優れたデザインの建造物や歴史的建造物など景観資源のライトアップと合わせた歩行回遊ルートの設定により、市民や来訪者が楽しめる夜間景観の創出を図ります。

**城** 新たな眺望点の設定や犀川と浅野川の川筋景観の保全など、伝統環境の保全や特有の地形及び自然環境と調和した魅力ある景観の創出を図ります。

**新** 金沢駅から金沢港へと延びる都心軸の洗練された街並みと、金沢の玄関口にふさわしいもてなし空間が形成された魅力ある景観の創出を図ります。

**城** 金沢城鼠多門の復元整備や二の丸御殿の調査・検討による金沢の歴史的資産の活用や三御門、玉泉院丸庭園などの魅力発信を促進します。

**城** 東京国立近代美術館工芸館、石川県立美術館、金沢歌劇座及び鈴木大拙館など芸術文化施設が集積する本多の森周辺は、金沢らしさを表現する大切なエリアとして、県とも連携しながら、一体的な魅力の創出を図ります。

**城** 金沢の建築文化の拠点となる施設を整備することにより、質の高い重層的な建築文化の魅力を国内外に発信します。

**城** 金沢大学工学部跡地に移転する石川県立図書館は、多様な文化活動・交流の場として機能強化を図ります。



▲武蔵地区におけるライトアップ



▲洗練された街並み景観を創出する都心軸

## 第4章 重点地区のまちづくり方針

**新** 海の玄関口となる金沢港では、新たなクルーズターミナルを核として、県と連携しながら、来訪者のみならず市民も楽しめる新たな機能の強化や美しい景観の創出を図ります。

**城** 都心軸及び百万石通りに面したオープンカフェの整備支援をはじめとする、民有地を活用した新たな魅力空間の創出を図ります。

**新** 金沢駅周辺などの都心軸上拠点では、公共交通の利便性向上を図りながら、多くの人々が交流できる施設整備を促進します。

**城** 計画的に無電柱化事業を推進し、美しく安全な街並みの創出に努めます。



▲無電柱化された美しく安全な街並み

## 4. やさしさと親しみに満ちた「もてなし」づくり

### A. 利便性に富み、誰もが快適に暮らせる生活基盤の整備充実

- 新城** 北陸新幹線を都市の活性化につなげるため、金沢駅の交通結節点としての機能充実を図るとともに、公共交通の充実など利便性向上を図ります。
- 新城** 公共交通重要路線の強化、交通結節機能の向上、パーク・アンド・ライド駐車場の充実、新しい交通システムの導入検討など、円滑な移動を実現するため、さらなる利便性の向上を図ります。
- 新城** シェルター付きのバス停や駐輪場を整備するなど、公共交通重要路線及び鉄道線の利用環境の向上を図ります。
- 新城** 駅、バス停、歩道などの交通施設はもとより、不特定多数の人々が利用する建築物などについても、ユニバーサルデザインの導入を推進します。
- 城** まちなかの身近な足として、金沢ふらっとバスのさらなる利便性の向上を図ります。
- 新城** 公共交通の利用促進を図るとともに、歩けるネットワークづくりや、歩行者専用道路の拡充など、歩けるまちづくりを推進します。
- 新城** 自転車の走行環境の維持・改善を図るとともに、自転車走行ルールや駐輪マナーの周知徹底を図ります。
- 新城** 宿泊税などを活用し、市民生活と調和した持続可能な観光の振興及び観光客の受入環境の充実を図ります。



▲金沢駅 もてなしドーム



▲金沢ふらっとバス

### B. もてなしの力で育む交流の拡大



▲ボランティアガイド



▲兼六園

- 新** 金沢港については県と連携し、クルーズターミナルをはじめとする施設整備を進めるとともに、まちなかへのアクセスの向上など、機能強化を図ります。
- 新** 金沢港クルーズターミナルでは、CIQ(税関・出入国管理・検疫)や待合エリアの整備により、訪日外国人の受入体制の強化を図ります。
- 新 城** 国内外からの来訪者に対して、質の高い金沢のおもてなしが実現できる観光ガイドなどの人材育成を推進します。
- 新 城** 主要な拠点における多言語に対応した案内誘導サインや案内所の適切な配置を継続的に進めます。
- 新 城** 地域の観光づくりを担う金沢版DMOと連携して滞在型観光を推進し、金沢ファン拡大のための事業展開を強化します。
- 城** 兼六園、金沢城公園、長町武家屋敷跡、茶屋街、寺院群など、旧城下町区域に多く存在する観光資源の保全、継承を図り、金沢で「ほんもの」の伝統・文化が体験できる機会を創出します。

## 5. 地域コミュニティを支える「きずな」づくり

### A. 地域コミュニティの活性化

- 新城** 新たなまちづくりの担い手となるNPO法人や学生団体などと地域住民との連携強化のコーディネートにより、コミュニティ活動の推進を図ります。
- 新城** 市民活動サポートセンターなどの拠点を活用し、地域団体や市民団体の活動を支援します。
- 新城** 「地域コミュニティ活性化事業」をはじめとする支援制度の周知を行うなど、積極的な活用を促します。
- 新城** 小学校の再編などに合わせ、消防団など地域コミュニティ組織の適切な運営の検討や善隣思想に基づく地域福祉活動の担い手育成などにより、「地域力」の向上や活性化に努めます。
- 城** 旧町名復活の意義や支援制度の周知を行うことで、地域への誇りと愛着を高める旧町名の復活を推進し、住民相互の連帯意識の醸成を図ります。



▲旧町名の復活

### B. 市民協働のまちづくり



▲卯辰山山麓寺院群の街並み

**新城** 地区計画やまちづくり条例による住民自らがつくるまちづくり  
ルールの作成を支援するとともに、その取組を通じて地域へ  
の愛着と誇りを醸成します。

**新城** まちづくり企画を公募する「協働のまちづくりチャレンジ事業」  
などにより、市民と行政による協働のまちづくりを推進します。

**城** 伝統的建造物群保存地区やこまちなみ保存区域などではまち  
づくり活動組織への支援を行うことで、地域の誇りの醸成を図  
ります。

**新城** 祭りや行事などの地域活動、公園や道路などの愛護活動、地域  
の課題解決のためのまちづくり活動など、市民が主体となった  
取組に対する積極的な支援を行います。

**新城** ぼい捨て等防止重点区域の周知や観光マナーの呼びかけな  
ど、地域住民及び事業者の協力による取組の推進により、市  
民・来訪者がともに快適に過ごせる環境を創出します。

**城** 商店街、協議会、大学、NPOなどが相互に連携して取り組む、  
商業振興のための賑わいづくり活動づくりを支援します。

**新城** 地元組織や事業者などから構成されたまちづくり団体による、  
賑わいの創出に向けた公共空間の活用・維持管理に関する取  
組を促進します。

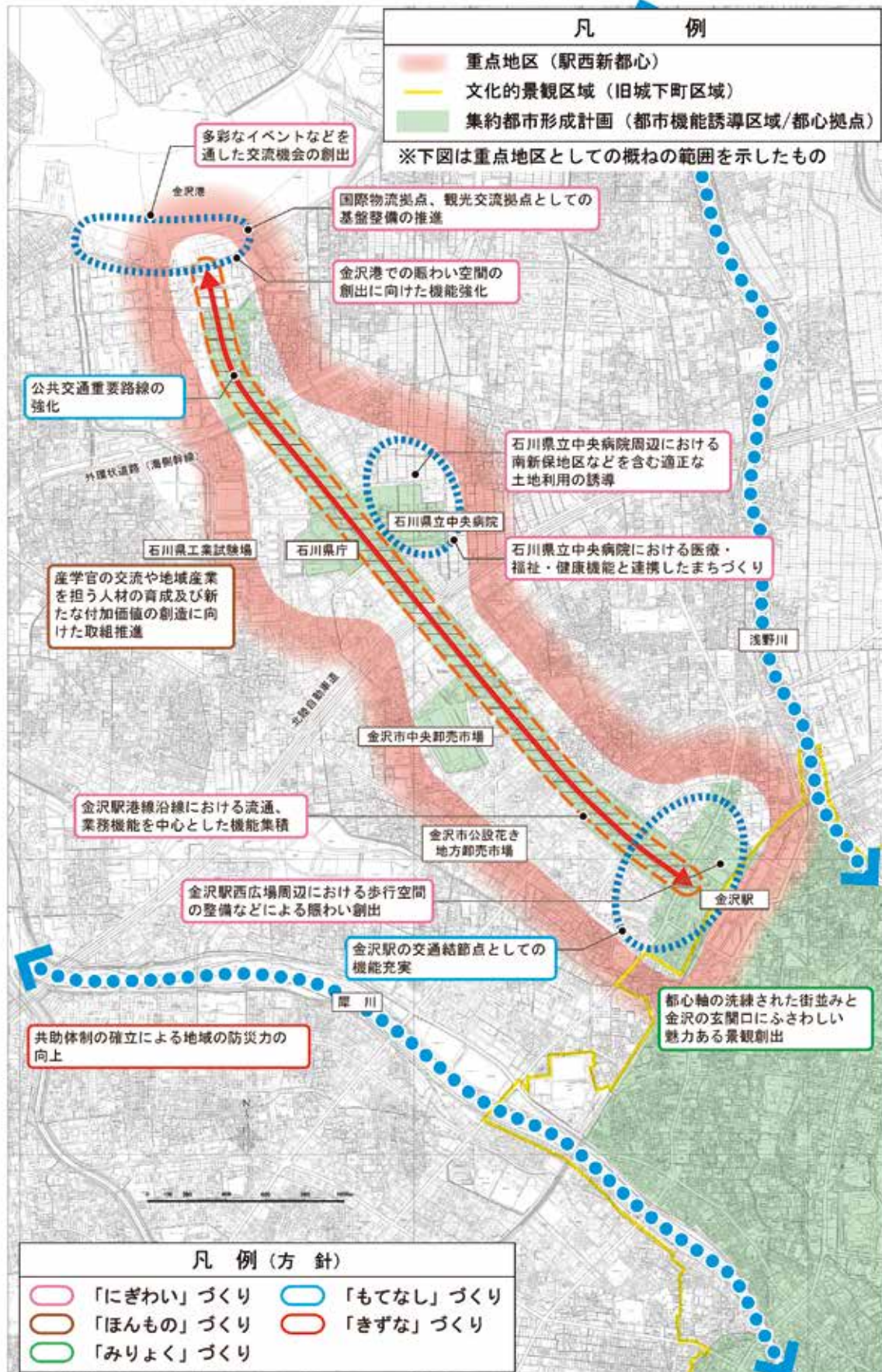
**新城** 地域住民及び事業者が協力しながら自主的に防災活動を行う  
共助体制の確立により、地域の防災力の向上を図ります。

**新城** ハザードマップの周知や地域の防災訓練への参加などを通じ、  
市民及び事業者の防災意識の向上を図ります。



▲自主防災活動

◆重点地区のまちづくり方針図(駅西新都心)



◆重点地区のまちづくり方針図(旧城下町)

